

## 令和8年度 学校経営計画

### 1 学校教育目標

- ア 学力教養の充実
- イ 健全な心身の育成
- ウ 豊かな個性の確立

### 2 学校の特徴

令和5年度には創立110周年を迎えた。現在、普通科、薬業科、商業科、海洋科の4学科を有する総合制高校の特色を生かし、「高きを求める情熱」の生徒目標と「文武両道」の生活信条のもと、社会性や多様性を育む教育活動を推し進めており、生徒は活気に満ちた学校生活を送っている。

中学校や進路先企業からは、明るい学校、部活動が活発な学校として評価され、厚い信頼を受けている。また、地域との連携として、地域行事への積極的参加・クリーンアップ活動・ボランティア活動等を推進し、同窓生、地域の人々からも温かい眼で見守られている。

### 3 学校の現状と課題

本校は、様々な教育活動において、教員組織を挙げて、生徒一人一人の個性を大切に、自主・自律の精神を育成していくことを柱としている。また、特色ある4学科を有することが互いの刺激となり、「滑高ゼミ」や「専門学科総合選択」の授業を通して、他学科の専門的知識を学ぶことにより、さらに滑高生としての自覚を高め、生徒、教職員ともに地域に信頼される学校をつくろうという気概に充ちている。

県東部を代表する総合高校として、普通科の進路意識向上を目指した特色化と、薬業科・商業科・海洋科の専門性の伝統と進化を両立させ、その価値を広く発信することで、いかに中学生を魅了できるか模索していきたい。そのため、特色化への具体策、伝統継承の分析と新たな視点の検討等を、本年度の教育活動に加えていきたい。

上記目標達成のための課題として、①生徒の自律心を育むとともに学習意欲を喚起し、主体的な学習習慣の定着を促す、②生徒の自主性・主体性を高める特別活動の充実に向けた取り組みを推進する、③専門学科に比べて、特色を出しづらい普通科の魅力向上に資する教育活動を展開する、等が挙げられる。

(様式2)

4 学校教育計画 1学習活動 2学校生活 3進路支援 4特別活動 5その他

項目		目標及び計画	
(1)	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 学習活動 (指導)  <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">重点1①②</span>	目標	各教科・科目の目標を明確にし、生徒に応じた適切な指導を行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。また、生涯にわたって主体的に深く学ぶことができるよう興味・関心をもたせ、学びがウェルビーイングにつながるという学びそのものの楽しさ・大切さを感じさせる。
		計画	①授業内容の精選や関連科目との系統化を図るとともに、多様な評価方法の検討を行い、授業内容の充実を図り適正な評価につなげる。 ②年間指導計画ならびに観点別学習状況の評価法を検証し、工夫や改善を推進するとともに、定期考査や小テスト、校外模試や資格検定の結果などから学力の定着状況を把握するよう努める。 ③学級毎に面接指導や諸調査等を計画し、生徒の能力・適性の把握に努める。また、学習活動と部活動との両立を進める際の家庭学習(※)のあり方・必要性を伝え、習慣化を図る方法を探る。 ④基礎的事項の指導を徹底する。普通科では、一部の教科で実施している習熟度別授業や展開授業を活用し、生徒の自律心と探究心が生まれやすい指導法を探る。一方、専門学科では少人数制授業を実施するなどし、例えば目標とする資格取得につなげ自信をつけさせる指導を目指していく。さらに、長期の目標を見据えた辛抱強さを習慣に組み入れていくことも重要な要素である。 ⑤不登校や起立性調節障害が生じるケースに対応し、多様な学びの方法を準備し、学びを止めない姿勢を確立するよう努める。 ⑥文字情報に触れる習慣を身につけ、社会問題への関心を喚起させる。表現力やコミュニケーション能力を高め、質の向上を図る。 (※) 家庭学習は通塾、すき間時間活用、スマホを用いた学習など多様化している。
(2)	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> その他 (デジタル対応と生徒データ集積)  <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">重点1①③</span>	目標	スクールポリシーの実現を目指す。生徒・保護者の進路要望へ丁寧に対応し、日々の学習活動から得られる多様な評価要素を効率的にまとめ、適正な学習評価につなげるためにICT活用を一層促進する必要がある。 諸業務を効率化し生徒の状況を捉えるための時間確保につなげ、長期的な視野で滑高生が身につける資質・能力(コンピテンシー)の向上を図る。諸調査で得たデータを蓄積し、各学科が持つ特性を最大限に生かしつつ、多様性を受け入れた連携・協力を推進し生徒の良質な学びにつなげる。
		計画	①本校がルーブリックに掲げる学びに向かう力・人間性の諸要素「協働力、向上力、自律心、公德心」が育まれている教育活動を抽出していく。 ②(1)校務支援システム、(2)教員研修の申請システム、(3)オープンハイスクール(申請、生徒アンケート)、(4)互見授業アンケート、(5)前向きな学びに関する調査についてGoogleFormsを利用し引き続き集積データから考察を進める。 ③生徒の状況は、部活動の大会や考査・模試、資格のための補習など時節によって強度の対象が変化する。本校の特色「文武両道」を目指すには、心身の健康に加え対象や場面に応じた頑張り方が大事になってくる。求めに応じた能力、自律的に考え行動できる能力を育てるために、学年団や学科が長期の視点に立った声かけや早めに相談に応じ、行動変容につながる事例を集めたい。
(3)	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 図書指導  <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">重点1③⑦</span>	目標	高い教養と豊かな情操を養い、創造的な人間形成に寄与する活動を進める。
		計画	①授業・「総合的な探究の時間」・「滑高ゼミ」などにおける調査研究を支援するため、各教科等との連携を密にし、適切な資料選定および活用を提供する。 ②生徒図書委員会の自発的な活動を促し、生徒の求める図書・資料の充実に努め、日常的な来館動機を創出する。
(4)	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span> 進路指導  <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">重点3⑥</span>	目標	生徒一人ひとりが自己の能力、適性を見出し、それらに応じた進路選択ができるようサポートする。
		計画	①1学年では、入学時に家庭学習の習慣を確立させるとともに、高校3年間・卒業後の展望を持ち、主体的に進路選択できるよう支援を図る。2学年では、進路意識の向上を促し、学力の伸長を目指させる。3学年では、進路目標達成・実現のためのきめ細やかな指導・支援の充実を図る。 ②学級担任等との面談や、外部講師による講演、ホームルーム等における進路研究、各種体験学習等を通して、進路意識の向上を図り、早期に目標を設定させる。 ③保護者会や保護者進路説明会で、情報・資料等を提供し、本校の進路指導及び生徒の進路選択・実現について理解・協力を得る。

項 目		目 標 及 び 計 画	
(5)	4 特別活動 重点4④	目標	諸活動等を通して心身の健全な発育を促進し、自主性と規律ある習慣を身に付けさせるとともに、有為な社会人としての資質を育てる。
		計画	① 学校行事（スポーツ大会や体育大会、文化活動発表会等）の運営方法や企画内容は、生徒会中心に工夫をさせて、教育効果を高める。 ② ホームルーム活動や生徒会活動、ボランティア活動、部活動においては、生徒が自主的・自発的に生き生きと活動するようにする。 <u>「文武両道」として部活動と学習の両立を目指し、活動内容や活動時間を工夫し、生活を整えさせる指導を心がける。</u>
(6)	2 生徒指導 重点2⑤	目標	生徒の自主性・自律性を尊重し、将来に向かって社会に対応できる誠実で健全な心身の育成や人間形成を目指す。
		計画	① 基本的生活習慣を身に付けさせるとともに規範意識の向上を図り、安全教育に努める。 ② <u>生徒の生活実態の把握や、様々な活動を通して生徒理解を深め、問題を持つ生徒への早期発見に心がけ、生徒の自己育成力の伸長を支援する。</u> ③ 学習・部活動・生徒会・ホームルーム活動など生徒の意向を尊重し、良好な関係を保持しながら生活指導を推進する。 ④ 家庭や関係機関との連携を密にし、生徒の健全な育成に努める。
(7)	2 保健指導 重点2⑧	目標	環境整備・美化活動に取り組むことで、快適な学習環境を自ら整えようとする態度を育成し、健康で安心・安全な学校生活を送ることができる生徒を育てる。また、学校生活の中で不適応感を示す生徒を早期に発見し、適切な支援につなげるため、家庭や関係機関と連携しながら問題解決と自立に向けた支援を行う。
		計画	① 日常的に使用する場所の清掃や整備に関心を持たせ、清潔で落ち着いた環境を維持する態度や習慣を身につけさせるよう指導する。 ② 健康診断・各種検診の結果を踏まえ、健康への理解が深まるよう適切に指導する。また、保健に関する情報を随時発信し、規則正しい生活習慣の確立と健康保持・疾病予防の自己管理を促す。 ③ 環境美化委員会の活動を推進し、学校全体の美化意識の向上を図る。 ④ 施設・設備・用具の点検を定期的に行い、安全な環境づくりに努めるとともに、防災意識の向上を図る。 ⑤ 教育相談の企画・運営を行い、教育相談に対する教職員の理解と対応力の向上を図る。 ⑥ 教育相談だより等を発行し、心の健康に関する啓発を行う。 ⑦ 教育相談連絡会やケース会議を随時開催し、支援を必要とする生徒についての共通理解を深めるとともに、教職員・保護者・関係機関との連携を図り、早期対応に努める。
(8)	1 3 農業科 重点5②	目標	・自己の可能性を高め、向上心・向学心を育てる。 ・富山の地場産業であるくすりを支え、貢献する人材を育てる。
		計画	① 資格・検定の合格率を上げる。 ② 課題研究やボランティア、部活動を通して地域へ貢献する。 ③ 課題研究・実習を通して主体的に学ぶ態度と実践力の育成を図る。
(9)	1 3 商業科 重点5②	目標	・時代の変化に対応した多様な資格取得や体験的な学習活動を通して、生徒の社会人基礎力の向上を図る。 ・指導方法や評価方法の見直しを通じた授業改善に継続的に取り組む。 ・上級資格の取得を推進することにより、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。
		計画	① 体験活動の充実として、1年生はインターンシップ、2年生は研修旅行において地域資源を観光ビジネスに活かす取り組み、3年生は販売実習をそれぞれ実施する。 ② 財務会計Ⅰおよび原価計算を重点科目と位置づけ、各種検定の合格率向上を目指す。特に3年生については、3種目以上の1級取得者数の増加を目標とし、生徒の学習意欲の向上を図る。 ③ 総合的な探究の時間においては、地域活性化に関する探究、プログラミングに関する探究、および税理士・公認会計士に関する探究活動に取り組む。
(10)	1 3 海洋科 重点5②	目標	・体験的な学習や課題探究型学習を基盤とした学習意欲の向上を図る。 ・基礎的・汎用的能力の育成を目指す。 ・水産・海洋分野の課題を見いだせる思考力と探究力を養う。
		計画	① 体験活動を充実させることで学習意欲および学力の向上を図る。 ② 水産市場や環境問題における革新的技術の進展を学び、進路選択に必要な素養と知識・技術力の必要性を認識させる。

			③ 各種検定・資格等の取得を奨める。 ④ 課題研究の調査・研究では、共通テーマ（SDG's）の下で活動する。
(11)	⑤ 地域との連携 重点5⑨	目標 開かれた学校づくりに努め、地域との連携・交流を推進することにより生徒の健全な育成を目指す。	① P T A活動をより活性化し、地域・学校・家庭との連携を密にする。 ② 学校 Web ページ、P T A だより、教育安全情報提供システムなどをおして、本校の教育活動や地域との連携活動等を広く紹介することにより、地域との情報の交流を図る。 ③ 生徒の対外的な奉仕活動や、地域の人々との交流行事を推進する。

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

1学習活動 2学校生活 3進路支援 4特別活動 5その他

令和8年度 滑川高等学校アクションプランー1ー	
重点項目	1学習活動
重点課題	基礎学力の定着・充実と主体的な学びに向かう力の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で真面目に学習に取り組む生徒が多いが、学習意欲が低く、学習時間が十分確保できていない生徒もいる。学習への意識や基礎学力の定着に個人差が見られる。</li> <li>・進路目標が明確でない生徒は、学習に向かう姿勢が受動的になる傾向がある。</li> <li>・「前向きな学びアンケート」から、「自律心」を持っていないと感じる生徒が多いことがわかる。</li> <li>・授業では、グループワークやディスカッション、ICT 機器を取り入れることにより、知識・技術力のほか、思考力、探究力、協働力など滑高生として身につける資質・能力が養われるよう工夫している。</li> </ul>
達成目標	<p>① 学習内容の定着、学習実態の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習に継続的に取り組む。</li> <li>・考査や資格取得に向けて計画的に学習に取り組む。</li> <li>・自身の進路目標や最適な学習方法を生徒自らが考える。</li> </ul> <p>② 「前向きな学びアンケート」において、「自律心」の向上と、他の項目においても前年並の水準を維持する。</p> <p>③ 教師の授業力の向上と、生徒が知的好奇心を持って主体的に学べるような仕掛けづくりを行う。</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の評価方法や授業のあり方、課題の内容等について相互に情報共有する。</li> <li>・生徒が考査ごと、学期ごとに振り返りシートを記入し、担任や教科担当者が面談等で活用しやすいように資料化し、学習意識の向上に繋げる。</li> <li>・互見授業により、教員間で積極的な知見の共有と連携体制の強化を図る。</li> <li>・学年及び進路指導部等と連携し、学習や進路目標を具体的に設定することで、生徒の主体的な学びに繋げる。</li> <li>・タブレットを用いた ICT 教育や探究型授業を引き続き推奨・推進する。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:現状より悪くなった)

令和8年度 滑川高等学校アクションプランー2ー	
重点項目	2学校生活 (6)生徒指導(7)保健指導
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活におけるルールやマナーに主体的に取り組める力を身につける。</li> <li>・環境美化の推進および生徒主体による健康・生活環境に関する調査研究の充実</li> </ul>
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン等の長時間の利用によるネット依存や学習習慣の乱れている生徒が多く利用マナーやモラルの欠如がみられる。</li> <li>・交通安全に対する規範意識の低さがみられ、地域からご指摘を受けることもある。</li> <li>・学校全体として環境整備への意識は向上している。一方で、清掃活動への参加が不十分な生徒が一部に見受けられる。健康・生活環境に関する生徒の実態把握は行われているが、改善につながる調査研究の体系化が十分ではない。</li> </ul>
達成目標	<p>① スマートフォン等の使用に関する自己管理能力の育成とネット上のルールやマナーの徹底を図る。また利用に伴う危険性についての認識を高めるとともに、トラブルに対する対処法等について身につける。</p> <p>② 自転車に関する交通ルールや乗車マナーを理解する。自転車乗車時のヘルメット着用を向上させる。通学・下校時における近隣小学生や中学生に対する思いやりの気持ちを持てるようになる。</p> <p>③ 全校生徒の環境整備習慣の定着 日常的に環境美化へ取り組む姿勢を育成する。</p> <p>④ 計画的な美化活動の推進 美化週間や花植え・除草など、年間を通した美化活動を環境美化委員会を中心に実施する。</p> <p>⑤ 生徒主体の調査研究の充実 健康や生活環境に関する課題を調査・分析し、改善につながる提案を行う。</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導通信や集会等を利用し生徒への注意喚起を行うとともに、風紀委員や生徒会による使用のルール作りなど自発的な活動により意識づけを行う。</li> <li>・4月に自転車点検、交通ルールブックによ</li> <li>(1) 環境美化に関する取り組み</li> <li>・各学期に1回、美化週間を設定し、環境美化委員会を中心に清掃活動への意識向上を図る。</li> <li>・花壇・中庭の整備を通じて、自然に触れる機会を増やし、情操教育の一助とする。</li> </ul>

<p>る交通安全HR、全校交通安全指導講話を実施し、規範意識やマナー向上とヘルメット着用を呼びかける。サイクル安全リーダーによる自転車のカギかけ運動を呼びかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中は部活動生徒による重点清掃を実施し、学校環境の維持に努める。</li> <li>(2) 生徒主体の調査研究</li> <li>・健康・生活環境に関する課題を設定し、アンケート・観察・聞き取りなどの調査を行う。調査結果を分析し、改善案を作成し、全校生徒へ広報する。</li> <li>・必要に応じて美化活動と連携し、環境改善につなげる。</li> </ul>
---	---

令和8年度 滑川高等学校アクションプラン 3 -		
重点項目	<b>3</b> 進路支援 (4)進路指導	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の現状を把握しながらの進路目標の早期設定と進路実現に向けた支援・指導</li> <li>・進学・就職に関する情報の収集・整理・精選とそれらを活かした支援・指導の充実</li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な進路目標を定める時期が遅いため、実現に向けて取り組む時間が十分確保できない生徒が多い。</li> <li>・進路目標達成のために、今何をすべきかを考え、見通しをもって実践できる生徒が少ない。</li> <li>・進路関係教材や情報が多くあり、教員・生徒ともに適切に取り扱うことが難しい。</li> </ul>	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3年1学期までに具体的な志望校、志望学部・学科を決める生徒の割合</li> <li>② 年内入試の第1志望校への合格率</li> <li>③ 進路関係学習教材の整理・精選や定着への着手率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 就職関係情報の整理・精選と効果的な提示への着手率</li> <li>⑤ 多様な生徒の進路指導に対応できる体制づくりへの着手率</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 80%以上</li> <li>② 70%以上</li> <li>③ 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 80%以上</li> <li>⑤ 100%</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 進路面談（担任・教科担当など）を適宜行う。</li> <li>・進路関係行事（講話、見学、体験など）への積極的な参加を促すとともに、探究心や職業観も養うようにする。</li> <li>・単に急かすのではなく、必要な説明や対話をし、納得感をもって進める。</li> <li>② 校内テストや外部模試の結果を基に現状を把握させ、一層の努力を促す。</li> <li>・大手予備校等からの情報や各種学校説明会で得た情報を教員間で共有し、指導に活かす。</li> <li>・教科補習、個別学習指導、面接指導等を全教員で行う。</li> <li>③ スタディサプリ、Classi、学びの基礎診断ツールなどの成果・課題を整理・分析し、教材の精選を図る。</li> <li>・分掌部会や進路指導委員会等で協議し、次年度への方向性を決める。</li> <li>・進路関係の各種行事の振り返りを促し、生徒のポートフォリオの蓄積を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 求人票の電子化を行い、業務の効率化を進めるとともに、生徒や保護者が互いに納得し、自分事として選択できるように促す。</li> <li>・業務軽減によって生じた時間やスペースを活用し、就職関係の指導（職業観、礼儀、コミュニケーション力など）や情報提供（企業情報等）の充実を図る。</li> <li>⑤ 入学時に進路オリエンテーションを実施し、進路意識と見通しをもって学校生活を送れるようにする。</li> <li>・公務員志望者に対して適切な情報提供や指導ができるように、教員側の研修を進める。</li> <li>・進路に悩む生徒・保護者に対して、これまでのノウハウや関係学科・機関との連携を活かして対応する。</li> <li>・生徒に対して進路に関するアンケートを実施し、現状の把握と指導・支援の効果の検証を進める。</li> </ul>

令和8年度 滑川高等学校アクションプラン - 4 -	
重点項目	<b>4</b> 特別活動 (5)特別活動
重点課題	諸活動を通じ、自ら考え、行動する態度の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事では多くの生徒が熱心に取り組み、楽しんでいる様子が見られる。しかし、与えられた活動以外では、学年、クラスの改善点を考えたり、アイデアを出したり、向上させようと関心を持つ生徒が少ない。</li> <li>・部活動は原則全員加入制を採用しており、高い目標を持って熱心に取り組んでいる部活が増えてきているが、各部の特性や部員の様子はそれぞれ違うので、よりよい活動になるように各部ごとの運営・活動方法を考える必要がある。</li> </ul>

達成目標	① 学校行事（スポーツ大会、体育大会、文化活動発表会）への取り組みに対する充実度が5段階評価による4以上が85%以上	② 部活動での活動に対する充実度が5段階評価による4以上が85%以上
	・85%以上	・85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事や各種取り組みにおいて、生徒会が主体となって、生徒の声を集約し、それらを反映させて活動を計画し、生徒主体での運営を図る。</li> <li>・組織や役割分担を明確にすることで、リーダーを育てると共に、互いに連携し支援し合えるように指導する。</li> <li>・限られた学校生活の時間の中で豊かな体験活動ができるように、行事の精選を行い、生徒の意見が反映されるよう配慮する。</li> <li>・先を見通したHR計画、またテーマの設定や討議資料の作成、事前研究などの準備をすすめる、その反省をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動では全体計画や活動内容等について顧問と部員が共有し、意見交換しながら個人や集団の実態に応じて具体的な目標を設定し、活動を行う。</li> <li>・積極的に休養日を設け、活動にメリハリを付け、健康面にも留意する。</li> <li>・部活動指導員やスポーツエキスパートを活用し、教員の負担を軽減させながらも部活動の活性化を図る。</li> <li>・全教職員が協力し、高校生活の充実、進路実現、「滑川高校生らしい（進学・就職）文武両道」を目指し、指導する。</li> </ul>

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：現状より悪くなった）

令和8年度 滑川高等学校アクションプランー5ー			
重点項目	① 学習活動 ③進路支援 (8)(9)(10)専門学科指導		
	< 薬 業 科 >	< 商 業 科 >	< 海 洋 科 >
重点課題	資格取得の充実	資格取得の充実	校外の方々と対話する機会を設ける。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習が不足している生徒の増加とともに、資格取得の意欲も減少している。</li> <li>・自己達成感が高いが能力が伴っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程への適応が進み、全商簿記実務検定1級において県内トップ水準の合格率を達成した。令和8年度もこの水準を維持・向上させながら、商業科の学力保障の土台として資格取得に継続して取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の方が講師で来られる機会があるが、講義形式で授業が展開されるため、双方向の対話などが行われない状況にある。</li> </ul>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物乙種第4類をはじめ危険物乙種全類、パソコン利用技術検定などの各種資格検定に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 財務会計I、原価計算を重点科目として、全商簿記実務検定1級の合格者数。</li> <li>② 3年生は3種目以上1級取得者の人数。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全生徒が1回以上の対話または協働形式の活動を体験する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物乙種第4類 1学年70% 2学年100%</li> <li>・危険物乙種全類3学年90%以上を目指す</li> <li>・漢字検定、英語検定の準2級以上を10%程度取得させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 60%以上</li> <li>② 70%以上</li> </ul>	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物乙種全類取得を目指し、学力補充を支援する。</li> <li>・危険物だけでなく、その他の資格（パソコン検、英検、漢検など）を取得するための基礎学力を充実させるよう、意識付けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の喚起を促す働きかけを行い、最後まで粘り強く取り組むように指導する。</li> <li>・ICTの効果的な活用</li> <li>・習熟度別学習を効果的に活用</li> <li>・放課後補習の実施</li> <li>・生徒個々の能力に応じた学習支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で1学期あたり3回以上の対話形式の校外活動または協働活動を設定する。</li> </ul>

		・指導者間の意思の疎通を図り、バランスよく学習指導を行う。	
--	--	-------------------------------	--

令和8年度 滑川高等学校アクションプランー6ー	
重点項目	⑤ その他(12)地域との連携・協力
重点課題	PTA活動の活性化
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会について、昨年度は第1回80%（一昨年度83%）、第2回65%（一昨年度75%）第3回59%（一昨年度63%）の参加率であり一昨年度を下回った。</li> <li>・PTA行事への参加者数は、昨年度はPTA総会74名（参加率12.8%）【一昨年度76名（参加率14.7%）】、進路研修会39名（一昨年度は22名）、挨拶運動22名（一昨年度は38名）であった。</li> <li>・PTA役員会やPTA行事の様子をホームページで発信している。PTAだよりを年3回発行している。</li> </ul>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA関連行事への参加率の向上。</li> <li>・PTAの活動や学校行事など数多く配信し、学校の魅力を広く伝える。</li> <li>・PTA関連行事での参加者の満足度を80%以上にする。</li> </ul> <p>①Webサイトの内容の充実を図る。 ②情報安全メールの活用を増やす ③PTA活動に関心を高くするために、PTA行事の内容を充実させ、PTA各会合や研修について参加したいと感じる魅力あるものにする。</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全メールやホームページを活用し、行事や活動内容の周知を図る。</li> <li>・ホームページやPTAだよりを通じ、PTA活動の様子をこまめにアップし、活動への理解・関心を高める。</li> <li>・PTA役員と連携し、PTA行事の内容を充実させ、PTA各会合や研修について参加したいと感じる魅力あるものにする。</li> </ul> <p>①Webサイトを通じて、地域の方や学校の魅力を多伝えるため迅速な情報発信に努める。 ②PTA総会や学年別懇談会、学期末保護者懇談会などでWebサイトの閲覧をアピールするとともに活動への協力を依頼する。 ③PTA行事实施後は参加保護者に対してアンケートを実施し、今後の取り組みに活かしていく。</p>